

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 城陽市立寺田小学校 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	第5学年 83名 第6学年 77名 全校児童
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	パラリンピックの競技に取り組む選手との交流を通して、障がい者理解を深めるとともに、選手の思いを知ること、夢に向かって努力することの素晴らしさや共生社会の在り方について考えることができる児童を育成する。
5 取組内容	1 パラリンピック競技に携わる方々の講演 (1) 日時 令和2年1月16日、2月13日 (2) 講師 馬島 誠氏(1月16日) 伊吹 祐輔氏(2月13日) (3) 対象 第5学年 83名 第6学年 77名 (4) 内容 講師の先生方のこれまでパラリンピック競技に関わってこられた体験談を聴き、これからの自分の生き方や考え方、目標に向かって努力することの大切さや自分ができることは何かについて考えを深めた。



	<p>2 「I'm POSSIBLE」の活用 国際パラリンピック委員会公認教材の「I'm POSSIBLE」を活用し、パラリンピック選手や種目についての理解を深めた。</p>  <p>3 オリンピック給食 オリンピック出場国の郷土料理について、知ることができ、和食とのちがいについて気付くことができた。</p>
6 主な成果	<p>パラリンピックスポーツについて知ることができた。またそれに関わる選手や周りを支えるスタッフの努力や苦勞について生の体験談を聞くことができ、児童にとっては、より身近に感じることができた。また2020年のオリンピック、パラリンピック東京大会に対する関心も高まった。</p>
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<p>パラリンピック競技選手や競技を支える方々の講演を有意義な時間となるよう、事前・事後指導を実施した。</p>
8 主な課題等	<p>講演をしてくださるオリンピック・パラリンピック選手をどのように探せばよいのか情報が少なく、選定に苦勞した。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>来年度にオリンピック・パラリンピック東京大会が行われるので、講演していただいた選手を子どもたちと共に応援したり、「I'm POSSIBLE」の教材は、本校の障がい児者理解教育の中でも継続して活用したりしていきたい。</p>